

日本歯周病学会第55回歯科衛生士教育講演会報告

研修会名：日本歯周病学会第55回歯科衛生士教育講演会

主 催：日本歯周病学会

共 催：佐賀県歯科衛生士会

日 時：平成26年10月5日（日）10：00～13：00

場 所：アバンセ

佐賀県佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011

演 題：『チームアプローチを考慮した計画立案』

『モチベーションをアップさせるためのコミュニケーション』

講 師：日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 歯科医師 小田 茂

日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員 歯科衛生士 茂木美保

研修単位：①②の両方に該当する場合は、それぞれの単位取得が可能

① 日本歯周病学会会員の場合

- ・認定歯科衛生士制度における申請時の教育研修単位（参加者8単位）
- ・更新時の生涯研修単位（10単位）

② 日本歯科衛生士会会員の場合

- ・第3次生涯研修制度に基づく専門研修単位（歯周治療の基本技術）
 - Ⅶ-D 「症例検討・報告」（1単位）
 - Ⅳ-B 「行動変容に必要な知識と技術」（2単位）

日 程：9：30 受付

10：00 開会の挨拶：山下真弓 佐賀県歯科衛生士会会長

10：05 講演・演習「モチベーションをアップさせるためのコミュニケーション」
（茂木美保委員）

11：35 休憩

11：45 講演・演習「チームアプローチを考慮した計画立案」（小田 茂委員）

12：55 質疑応答

13：00 閉会

内 容：

受講者人数は80名であった。日本歯周病学会の会員の出席は、佐賀県（4）、福岡県（1）、長崎県（1）、熊本県（2）、宮崎県（1）、鹿児島県（1）、山口県（1）、東京（2）の計15名であった。ちなみに佐賀県の認定歯科衛生士数は、2014年9月10日現在5名である。

はじめに、佐賀県歯科衛生士会山下会長の挨拶がなされた。続いて、茂木美保委員により「モチベーションをアップさせるためのコミュニケーション」の講演・演習が行われた。保健指導は、プレゼンテーションの1つであることから、プレゼンテーション・マインド、ハイコンテキストとローコンテキスト、英語のプレゼンテーションのための7つのルールにより、プレゼンテーションというものの詳細な説明がなされた。次に、説得的コミュニケーションについて行動変容を起こすための関わり方やカウンセリングテクニックの活用について、PPS、マイクロカウンセリング法、ソーシャル・マーケティングの項目で解説がなされた。演習としては、二人一組になり、コミュニケーションのロールプレーが行われた。最後に、日本歯科衛生士会第3次生涯研修制度および日本歯周病学会認定歯科衛生士制度の説明が簡単になされた。

休憩をはさみ後半は、「チームアプローチを考慮した計画立案」の題名で小田茂委員の講演が行われた。内容としては、メンテナンスとSPTの違い、SPTの臨床的重要性、SPT時の実施内容（医科的歯科的既往歴の再評価・リスクファクターの情報、口腔衛生状態・歯周組織・口腔の評価、現症の説明と再指導、必要な部位のスケーリングルートプレーニング、専門家による機械的歯面清掃）、歯周病症例の提示、歯科衛生士診断ならびに歯科衛生計画等であった。続いて、提示した歯周病症例の治療計画立案（特に歯科衛生計画）の演習が行われた。その後、質疑応答を行い、閉会となった。



小田 茂委員



茂木美保委員



会場の様子



会場の様子



演習（ロールプレー）の様子



演習（治療計画立案）の様子

文責：日本歯周病学会歯科衛生士関連委員会 委員

小田 茂

以上